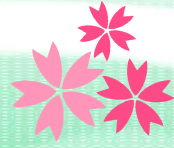


紙風船



ハーモニー学年9人が巣立つ

心を通い合わせた “門出の詩”

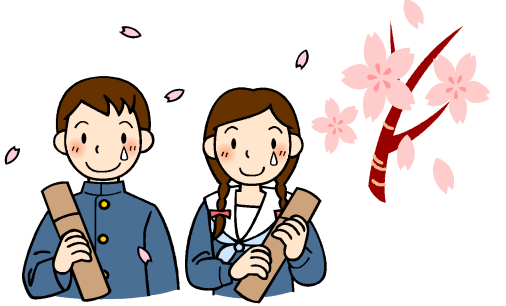
厳かな雰囲気 感動の【卒業式】

一昨日(15日)温かな太陽の光が射し込む中、本校第10期生の【卒業式】が行われました。全校児童が一丸となって、“6年生への思いを込めた【卒業式】にしよう”と、これまで全校の子どもたちが同じ思いで練習や準備に取り組んできました。

初めの頃は声量も少なく、“本番で6年生に思いが伝わるのか?”と心配したところもあったのですが、練習を重ねる中で、子どもたち一人一人の表情に『自信』がみなぎってくるのが手に取るように伝わってきました。

迎えた本番。6年生をしっかりと見つめ、これまでの「ありがとう」や「楽しかったよ」「またお願いします」などの思いを伝えるように、一語一語をかみしめるような口調で呼びかけている姿や「これが一緒に歌う最後なんだ」と少し寂しい気持ちももちながら、それでも大きく口を開けて歌う姿に、6年生だけではなく、その時間を共有した全ての人が、在校生の思いを感じ取ることができたものと思います。もちろん、6年生の思いも、しっかりと在校生や保護者の方々に伝わったことは言うまでもありません。

感動に包まれた【卒業式】。みんなの思いが一つになって『キラッと』輝いていました。



お知らせ!

紹介するのが大変遅くなりましたが、今年度、子どもたちが田植えや稲刈りで「田んぼアート」を体験しましたが、そのデザインを思い出に残そうと、職員室入り口向かいの外壁に、卒業生が『うさぎの月見』を描きました。

6年生が描いたのは10月下旬でしたが、「単独で紹介するよりも、標題看板が完成してから一緒に紹介しよう」と考え、これまで紹介しないでできてしまいました。

標題看板は『うさぎの月見』を描いている6年生の姿を見た5年生が「私たちも何か残したい、絵を描きたい」との要望に応じて作ってもらったものです。今回は有志の4人(N.さん、R.さん、M.さん、M.さん)に制作してもらいました。

制作時間は10分程度の昼休みの時間を充てました。短い時間の積み重ねで根気のいる作業でしたが、デザインの考案から、下絵描き、下地塗り、標題書きと色付け、風雨から守るためのニス塗りまで、全部4人が担当しました。看板そのものの大きさは、高さが30~40cm、横幅が90cmと、結構大きいものです。是非学校にいらしたときには、立ち止まってご覧いただければと思います。



壁に描いた「うさぎの月見」と
標題看板

独り言



6年生が卒業しての初日。今朝は、人数が少なくなっただけではなくどこかポカンと穴が開いたような感じがしていましたが、この記事を書いている中で、在校生のもっている力の凄さ・素晴らしさを再認識しています。5年生【銀河学年】を中心とした在校生の子どもたちは、卒業したハーモニー学年に引けを取ることなく、桧木内小学校のこれまでの伝統を引き継ぎ、新たな伝統も加えてくれるだろうと確信しています。

来年度は『新生桧木内小学校』の10周年でもあります。何か一つでも記憶と記録に残る活動を、この子どもたちと一緒にやり遂げたいと思っています。